



光照寺 本堂・庫裡

施工地／岩手県盛岡市本町通2丁目6-24 ■本 堂 構 造／鉄筋コンクリート造平屋建 ■庫 裡 構 造／木造二階建
 竣工年月／平成21年3月 延床面積／332.53m²
 敷地面積／2,359.72m² 延床面積／420.40m²

伝統と歴史の継承

歴史的風情が漂う盛岡市寺町通りに、天正元年からの伝統と歴史ある光照寺の本堂は明治35年(1902年)に建てられた築後100年を超える建物でありました。

木造の瓦屋根づくりの本堂は長年の風雪により、老朽化が進み冬期間には雪の重みで柱や梁がきしみ襖が開かないなど傷みが目立つ状態になっておりました。

これらの老朽化による様々な問題を解消し、檀家様やご住職など利用されるすべての方々の利便性と快適性の向上を図り、これからの100年を見据える建物として計画いたしました。



本堂



本堂向拝南虹梁



庫裡(住居)

時と共に歩む建築

新しい本堂は木造建築のような風格を十分に表す鉄筋コンクリート造とし旧本堂の西側の庭に配置いたしました。

本堂が西側に移ることで生じた東側の広いスペースには樹齢300年ともいわれる伽羅木の庭園や、檀家様用の駐車場を設け利便性と快適性に配慮いたしました。

庫裡は周辺地域との調和を考慮して落ち着いた木造の二階建とし、入母屋など本堂との統制がとれた外観といたしました。

本堂と庫裡の間には本堂からの日影を考慮し中庭を設けました、陽光が降注ぎ四季の移ろいを感じられる庭園となっております。

内部においては、本堂は真宗大谷派主流の七間四面三間内陣として十分な広さを確保し、外陣は最近ご要望の高い椅子の利用を視野に入れたカーペット敷といたしました。段差の解消により車椅子利用者の方にも利用しやすい施設となっております。

住居部分は高气密・高断熱化に努め深夜電力による蓄熱式暖房機を採用しCO₂排出量の低減を図るなど地球環境にやさしい計画といたしました。



内陣



内陣天井



外陣

平面図 a plan

